

令和2年度指定管理運営業務評価表

施設名称：大阪府立金剛登山道駐車場	指定管理者：一般財団法人大阪府みどり公社	指定期間：平成30年4月1日～平成33(令和3)年3月31日	所管課：環境農林水産部みどり推進室みどり企画課
-------------------	----------------------	--------------------------------	-------------------------

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		評価委員会の指摘・提言	
		評価	評価	評価	評価		
		S～C		S～C			
Ⅰ 平等利用の確保に関する項目	(1) 駐車場の設置目的の理解	①自然公園施設として設置された施設であることの理解	①大阪府立金剛登山道駐車場条例並びに同条例施行規則に基づき金剛生駒紀泉国定公園の利用増進を図るために設置された施設として適正な管理運営を行っている。	A	① 適切な管理運営を実施している。	A	
	(2) 駐車場の管理方針の理解	①自然公園法及び大阪府立金剛登山道駐車場条例並びに同条例施行規則に基づくことの理解	①自然公園法及び大阪府立金剛登山道駐車場条例並びに同条例施行規則に基づき管理運営を適切に行っている。	A	① 適切な管理運営を実施している。	A	
	(3) 平等な利用を図るための具体的な手法	①公平な情報提供 ホームページ・チラシなど多様な広報媒体を利用した情報提供や悪天候時の利用誘導 ②高齢者、障がい者等に対する利用援助	①交通アクセスマップ・駐車場付近マップ・ちはや園地のイベント情報など幅広い利用情報をちはや園地のHP上で提供し、 <u>金剛山イラストマップを現場で配付提供している。</u> ・ <u>ロープウェイを利用する予定で駐車する利用者に不便をかけないように駐車場入り口にロープウェイ運休の掲示を行い、周知している。</u> ・冬季の道路の積雪・凍結について、ちはや園地のHP・ブログにアップすると共に、電話の問い合わせに対応している。 ②身体障害者手帳、精神障害者保健手帳、特定医療費(指定難病)受給者、小児慢性特定疾病医療受給者、被爆者健康手帳所持者を新減免対象者とするなど大阪府の施策を遵守している。 ・障がい者、高齢者の立場に立ったルート案内図を作成し、配付している。	S	① 誰でもみどり公社HPから駐車場へのアクセスマップをダウンロードすることができる。 <u>ロープウェイ運行休止に伴う利用者への周知等についても適切に対応している。</u> ② 減免割引適用範囲の拡大など、府の事業に協力している。また、相手の立場に立ったきめ細やかな利用者への配慮が行われている。 <u>また、障がい者や高齢者に配慮した案内図を配布している。</u> 【R2年度12月末時点】減免件数 普通車1,870台 減免利用料金額(1,122千円)	S	
Ⅱ 施設の効用を最大限発揮するための方策	(1) 駐車場の利用拡大を図るための具体的な手法	①適正な利用時間の運営と警備員の配置	① 利用時間は午前7時から午後7時までを基本としている。	S	① 適正に実施している。	A	
		②警備員が配備されない時間帯における遠隔監視・操作の措置	② 警備員を配備していない午前7時から午前8時45分、午後4時15分から午後7時まで遠隔監視・操作で対応している。		② 適正に実施している。		
		③利用拡大にむけた近隣施設(ちはや園地、金剛ロープウェイ、香楠荘)や地元(千早赤阪村、千早赤阪村観光協会、バス・鉄道事業者等)等との連携	③ ・満車時には、 <u>近隣の民間駐車場と協力して駐車場所の確保や誘導を行っている。</u> ・耐寒登山時の大型バスの受入れについて、受付が千早赤阪村より公社に代わり、 <u>学校・団体等の利用調整を行っている。</u>		③ <u>近隣施設と連携・協働するとともに、ロープウェイの運行休止の状況について、適切に利用者へ情報提供を行っている。</u>		
		④利用者の利便向上のための季節、天候に応じた施設管理	④ 近隣のイベント等開催時や多客時の土日祝日は警備員の増員や、必要に応じて公社職員の応援により円滑な運営に努めている。 積雪時には、駐車場や進入路の除雪作業を行い、来場者の円滑な利用を図るよう努めている。		④ 適正に実施している。		
(2) サービス向上の方策	①利用者に対する丁寧な対応、声掛けの実施、利用者意見の積極的な聴取及び対応	① 利用者に対して安全・安心を与えるため挨拶や注意喚起を実施し、利用者が求めていることがあれば誠意を持って対応している。		① 適正に実施している。			

	②ゴミのない清潔な駐車場管理の実施	② 第1駐車場は毎日清掃を実施、第2駐車場については臨時に開場後に清掃を実施している。	A	② 適正に実施している。	A		
	③イベント時の開場時間の延長等、柔軟な対応による利用者の利便性と安全の確保	② 利用者増大等必要に応じて時間延長や警備員の増員等柔軟に対応している。		③ 業務量に応じて柔軟に人員を配置している。			
(3)利用者の安全対策について危機管理体制	①緊急時には危機管理マニュアルに即して迅速に行動できる体制の整備 ②新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の実施	①大阪府民の森危機管理マニュアルに即して緊急時の体制を整備し、現地警備員をはじめ関係者に周知している。 ② <u>新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、管理事務所やトイレにアルコール消毒薬を備付けるとともに、精算機の消毒、警備員のマスク着用等を行っている。</u>	S	① 大阪府民の森危機管理マニュアルに即して緊急時の体制を整備している。 ② <u>新型コロナウイルス感染症の感染予防対策について、大阪コロナ追跡システムを活用するなど、適切に実施をしている。</u>	S	・新型コロナウイルス感染予防対策について、継続して実施されたい。	
	③悪天候時における利用者、ハイカーへの周知、情報提供	③ 駐車場入り口にロープウェイ運休の掲示を設置し、利用者に周知している。 道路の積雪・凍結については電話の問い合わせに対応している。		③ ロープウェイ運行休止に伴う利用者への周知や道路の積雪等の状況等の問合せについても適切に対応している。			
	④凍結時・積雪時の警備員の増員を予定しているか	④凍結時・積雪時は警備員の増員や、公社職員の応援により除雪を行うなど利用者の安全に努めている。		④ <u>公社職員らの応援により、迅速に利用者の安全確保を図っている。</u>			
(4)自主事業の提案	①近隣施設との連携イベントや物品、飲食物販売の実施	① 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、ちはや園地のイベント等が中止となった。 ・駐車場利用者を対象にスノーボードやアイゼンの販売を行っている。	A	① 自主事業として、例年、無料イベントの開催や近隣の催事への協力を行っている。 利用者の利便性にも配慮した物品を提供している。	A		
☐施設の効用を最大限発揮するための方策	①バスターミナルやトイレ周辺の除草(年間2回以上)	① 春、秋を基本としてバスターミナル及びトイレ周辺の除草作業している。	S	① <u>草の育成状況に応じて対応する等、適正に実施している。</u>	S		
	②駐車場周辺の樹林について枯損木・枝の処理、支障枝の剪定	②枯損木・枝の処理、支障枝の処理を適宜に実施している。		② 適正に実施している。			
	③駐車場の清掃管理	③第1駐車場は毎日清掃を実施、第2駐車場については臨時開場後に清掃を実施している。		③ <u>使用の都度、清掃する等、適正に実施している。</u>			
	④駐車場内の側溝清掃	④日々の清掃及び草刈作業時に点検し、必要に応じて実施している。		④ 点検により、必要に応じて、清掃する等、適正に実施している。			
	⑤公衆トイレの清掃回数(年間60回以上)	⑤ 清掃は毎日実施している。		⑤ <u>利用者ニーズの高いトイレについては毎日清掃を行っており仕様書の指定回数(年間120回以上)をはるかに上回っている。</u>			
	⑥公衆トイレの消耗品の補充	⑥トイレトーパーパーは毎日の清掃時に補充している。 便座の清潔確保のため、アルコール除菌剤を配置している。		⑥ <u>清潔保持のための対応等も含め、適正に実施している。</u>			
	⑦公衆トイレの保守点検及び汚泥の引抜計画	⑦第1、第2駐車場ともに保守点検は年1回実施し、汚泥の引抜きについては第1が4回、第2が2回で合計年6回の計画で行っているが、利用状況に応じて引抜回数を増やして対応している。 ・活性炭取替をそれぞれ年1回計画的に実施している。		⑦ <u>利用状況に応じて、対応人員を増やす等、適正に実施している。</u>			
(6)府施策との整合	①行政の福祉化、就職困難者への雇用・就労支援の実施	① 千早赤阪村シルバー人材センターと業務委託契約を行い、高齢者の就労支援に配慮している。	S	① 高齢者の就労支援に配慮していることに加え、法人として就職困難者を採用している。	A		

		②府事業、その他の公益事業への協力	②千早赤阪村観光協会、金剛山頂施設連絡協議会の会員となり地域の活性化に連携して取り組んでいる。 ・国、府が行う治山事業、自然公園工事等の資材、重機置き場として駐車場の一部を提供している。		② 治山事業、自然公園事業等への協力も含め、適正な管理運営を実施している。		
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> Ⅲ 適正な管理業務の遂行ができる能力及び財政基盤に関する項目 </p>	(1)収支計画内容の的確性、実現性	①当初見込んでいた収入は得られているか ②事業計画や前年度実績等と当年度実績とを比較、分析した結果はどうか ③経費は当初見込んだ範囲内で収まっているか ④当初提案時の支出計画書や事業計画等と実績とを比較、分析した結果はどうか	① ロープウェイ運休により収入は大幅に落ち込んでいる。ロープウェイ運行時の3年間の同期間の平均と比べ65%（令和2年10月末現在） ② 概ね事業計画通り進捗している。 ③ 大阪府への納付額について協議を行っている。 ④ 概ね事業計画通り進捗している。	A	① ロープウェイの運休により収入は大幅減。対前々年比・12月末（R2/H30）70% ② 事業としては、計画通り実施しているが、実績については、大幅減。 ③ 必要経費を抑えて事業の実施を図っている。 ④ 適正に実施している。	A	
	(2)安定的な運営が可能な人的能力	①安定的な運営が可能な人的能力を有しているか	①警備員はシルバー人材センターの経験のある者を配置している。 ・施設維持管理については公社職員が実施している。	S	① 適正に実施している。	A	
	(3)安定的な運営が可能な財政的基盤	①安定的な運営が可能な財政的基盤を有しているか	①公社全体で安定的な運営が可能な財政的基盤を有している。	A	① みどり公社本体において、十分な財政基盤があり、指定管理業務の受託に問題はない。	A	

最終評価：Ⅱ